



明日に 向かって

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

Vol.21
2006年7月発行

『05・06年度合同発行号』

多治見陶都ライオンズクラブ ◆事務所/〒507-0071 多治見市旭ヶ丘10-6-33 美濃焼卸センター会館2F TEL(0572)20-2366 FAX(0572)20-2367

■ 地区スローガン 『心はひとつ ライオンズスピリット』

■ クラブスローガン 『心はひとつ もっと例会 もっとアクティブ』



2005年度「さよなら例会」2006年6月16日 山神温泉にて

新年度を迎えて！

■ 会長挨拶



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
会長

L. 柴田博安

早いもので図らずも昨年の七月に、第一副会長に推挙され、まだまだ会長をお受けするまでには一年もあると高をくくっておりましたが、次年度予定者理事会及び次年度予算案の検討、また、五月には大垣での三役セミナーを受け、いよいよ本番が近づいて来たと痛感しております。

不生私が会長職を全うできるかどうか、現在全く自信がなく不安ではありますが、メンバーの皆様の御協力、御指導によって一年間の重責を全うし、職務に全力投球したいと考えておりますので、どうか宜しくお願い致します。

さて、今期は1992年に我が「多治見陶都ライオンズクラブ」が結成されてから、満15年目を迎える節目の年になります。このメモリアルイヤーを迎えるに当たり、三つの柱（記念事業・記念誌の作成・祝う会）を中心に各メンバーが意見、智恵を出し合って頂き、15周年を作り上げていきたいと思っております。

また、スローガンは「心はひとつ もっと例会 もっとアクティブ」とさせて頂きました。

近年、例会の出席率が低下しておりますので魅力ある楽しい例会にする為に、皆で考え良い例会方法があれば即実行していきたいと思っております。

また、アクティビティに関しては、一人でも多くのメンバーが参加し行動して頂ける様努力して行きたいと思っております。

いよいよこの七月に船出を致しますが荒波もあり穏やかな波もあるかと思いますがそれを乗り越え、来年の六月に無事帰港する為に、メンバーの皆様の絶大なるご協力とご支援を宜しくお願い致します。

■ 幹事挨拶



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
幹事

L. 渡邊孝司

L.柴田博安会長との相互理解により、先輩ライオンの教を請いながら、会員相互の融和を図り、明るく楽しいクラブ運営をとっております。

皆様よろしくお願ひいたします。

■ 会計挨拶



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
会計

L. 若尾 賢一

この度、2006年に15周年を迎える多治見陶都ライオンズクラブ会計の大役に指名して頂き、戸惑いと共に職責をいかにまっとうできるか、自問自答の日々が始まりました。

1992年7月、クラブ結成以来、数々のアクティビティを実行され、会員相互が「奉仕・発展・指導・推進・実践」のもと、築かれた活動を、本年度も絶やすことなく、より運営しやすいお手伝いをするのが私の役目と考えております。即ち、全事業活動を通じて配慮と影響を常に心掛け、スムーズなクラブ運営が出来る事を大切に！

視点と基本を脱することなく、明確に会計の職を完遂する所存です。

また、時に不手際の事もあるかと思いますが、会長・幹事の御指導のもと努力して参ります。皆様と共に、15周年を素晴らしい年にしたいと思っております。

クラブメンバーの皆様のフレンドシップのもと、1年間アドバイス、御支援を心よりお願い申し上げます。

桜再生協議会

L. 前田 重宏

■ 多治見桜再生協議会を立ち上げて

10周年記念事業として実施してきた虎溪公園の桜再生事業がやっと市内の奉仕団体を中心に多治見桜再生協議会として今年度自立スタートすることが出来ました。

桜再生も含め里山づくりというのは、非常に息の長い取り組みは元より市民の暖かい理解と協力がなければ決して出来るものではありません。

幸いに市内の6つの奉仕団体と関連2行政が参画して頂きスタート出来た事は非常に心強いものと感ずる次第であります。

今後協議会メンバーのみならず、一般市民、特に次世代を担う子供たちの里山づくりへの参画を呼びかけていかなければならないと思っています。

最近、一企業から記念事業として虎溪公園の桜再生への参画の申し出を頂きました。こうした企業や個人の方たちが里山づくりに積極的に参加して頂けるような環境を創っていく事こそが、桜再生協議会立ち上げの大きな意義があるのではないのでしょうか。

会員の皆さんの桜再生に対する暖かいご理解とご支援を引き続きお願いを申し上げる次第であります。



一年を振り返り...

■ 前会長挨拶



2005.7～2006.6
多治見陶都ライオンズクラブ
会長

L. 若尾円三郎

1年間多治見陶都ライオンズクラブのスローガンとして掲げたテーマ「追っかける例会で創る 友愛と奉仕」のもと各種プログラムの推進に鋭意努めてまいりました。

この1年で生涯の友となりうるすばらしい人と出会い、その友情の中での力を合わせた輝かしい奉仕活動等を行なってきました。

これらの経験が、この1年を長い人生の中で最も充実した意義深い、そして思い出深い1年としてくれました。

世界では15%の人が栄養過多に陥る反面20%の人が飢餓に喘ぎ、17%の人が安全な水が飲めません。そして14%の人は文字を知りません。また、数千万人の人に失明の恐れがあります。今年度からスタートした視力ファーストキャンペーンII(LCIFによるCSFII)に関しては全員参加で取り組みました。

さらに環境作文コンクール、応急手当普及員指導者講習会、小、中学校の9年間皆出席者表彰、虎溪山の桜再生事業と推進してまいりました。そして、仙台での東洋東南アジアフォーラムへの全員登録での参加は今年度最大のアクティビティとなり、目標を達成できたと信じております。

今後もライオニズムの原点に立ち返り、お互いの相互理解のもと、友情を重ねあい、絆を深め合いながら地域社会に根ざした新しいニーズに呼応した新しい形のアクティビティを推し進めていきたいと思っております。

最後に各事業にご尽力いただきました多治見陶都ライオンズクラブの皆様にご心より御礼申し上げます。

■ 前幹事挨拶



2005.7～2006.6
多治見陶都ライオンズクラブ
幹事

L. 若尾敬一郎

17年度クラブスローガン

『追っかける 例会で創る 友愛と奉仕』でスタートした、L.若尾円三郎会長のもと会員の皆様方には一年間盛り上げて頂き、心より感謝致します。

幹事として、無我夢中の一年間でしたが、会長はじめ会員の皆様方には大変御迷惑をおかけ致し、自分自身クラブ幹事としての勉強不足を痛感し、申し訳なく思っております。今後は初心にかえり、地域社会とのつながりを大切に、常に友愛と相互理解を基に、奉仕活動をしていきたいと思っております。

一年間皆様の御理解と御協力を頂きありがとうございました。



2005.7～2006.6
多治見陶都ライオンズクラブ
計画委員長

L. 足立竹志

■ 前計画委員長挨拶

委員長を拝命しL.若尾円三郎会長の『追っかける 例会で創る 友愛と奉仕』の下で始まった計画委員会も、さよなら例会のみを残し無事終えることが出来ました。これも委員会の方々と、会員の皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。

本年度の行事は、国際的見地に立ち、例会運営また例会出席率の向上を目的とし国際大会仙台アジアフォーラムに参加することにより、何かを感じて頂きたい、そして例会をもっと、もっと盛り上げて、素晴らしいクラブにして行きたい思いで計画いたしました。

そして、昨年10月には仙台で行われた東洋東南アジアフォーラムへの全員参加移動例会を行いました。

ゴルフ同好会より、強豪6名が国際トーナメント（松島チサンカントリー）に参加好成績をおさめるも、パーティ成績発表も一切無し残念でした。

ただ考えるも、参加された皆さんはそれぞれ例会、懇親会を控えお忙しい方々。早くお帰りくださいとのトーナメント大会委員長のメッセージと後日思いました。

そして鳴子温泉での移動例会、懇親会、ゴルフ同好会も出席し、素晴らしい例会を終える事ができました。翌日は東洋東南アジアフォーラム仙台の開会式に全員参加いたしました。

2月のチャーターナイト記念移動例会は、国際理事L.山田實紘をお迎えしての記念例会。国際理事L.山田實紘には、国際会議の裏話と会議のノウハウ等、多々勉強させて頂きました。また、国際理事の熱意により我クラブよりボストン国際大会にL.尾関恵一、L.渡辺孝司の2名が代表で参加させて頂く事になりました。ご苦労様です。

最後に6月のさよなら例会では、お二人のアメリカでのご活躍を祈りささやかな壮行会を計画いたしております。

12月忘年例会

4月修道院での花見例会

あっという間の一年でしたがご協力ありがとうございました。



15周年を迎えるにあたり!



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
15周年記念大会
大会長

L.尾関恵一

■ 大会長挨拶 『初心』

わがクラブも15周年を迎えることになりました。歳月の流れは、早いものです。

「ライオンズとは何か」も、ほとんど理解しないままにクラブの結成に参加しました。このライオンズによって、多くの人達と新しい交わりが出来ました。多少の時間的、金銭的な負担はありましたが、得ることが出来たものは、その負担の何倍ものものでありました。

環境作文コンクールは、結成当初からの継続事業として、更に中学生の9年間皆出席生徒の表彰などと並んで、私達の活動目標である環境問題、青少年の育成などを旨とした活動として誇れるものでないかと思っています。

更に10周年記念事業を契機として始まった桜再生事業は、市民活動として発展しつつあり、ようやく軌道に乗りつつある状況です。この事業は、大変に有意義且つ大規模なものであり、10年、20年という非常に永い歳月を必要とするものであり、ねばり強い活動が必要です。しかし、その成果は、必ず大きなものとして、わが故郷多治見市に帰ってくるものと信じています。

このような活動の一方では、結成に参加したチャーターメンバーが約半数の23名になってしまっているということも現実としてあります。クラブを去った人達には色々な事情もあろうかと思いますが、他方、私達も結成当初、入会当初の新鮮な気持ちになえてしまっていないかと心配しています。マンネリ化の嵐です。この15周年を契機として、各自が初心に立ち帰って、一人ひとりの力は小さいけれど、10人、100人と集まればその力は大きなものとなる。その力で社会に奉仕するというのを、もう一度見直してみる必要があります。

この15周年記念事業は、日頃、私達の活動に協力してくれる家族に感謝しつつ、もう一度、初心を思いおこすような記念事業したいと思います。



皆様の御協力により立派な記念事業をしましょう!



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
15周年記念大会
実行委員長

L.加藤 恵一

■ 15 年間を振り返り

多治見陶都ライオンズクラブ結成15周年を迎え、15年間の記憶が色々と思い起こされます。卸団地で、藤田会長のもと執り行われた、認証状伝達式。

藤田会長のお力添えで、多治見の地へいらっしゃった、天地真理さん。

そして、2年目に仰せつかった幹事。どんな委員会を作り、どんなアクティビティを行ったらいいのか。3役がライオンズ必携片手に、毎日事務局通い。

地区・複合年次大会で代議員として投票する事など知らないで、多治見ライオンズクラブの故武内憲二ガイディングライオンにしかられた事。何処へ行くにも手弁当、金沢の複合年次大会へ参加早々に近江町市場で寿司ランチ、苦勞も有りましたがとても楽しく職務をまっとう出来ました。5周年では柳生博氏をお迎えしての市民講演。

10周年 虎溪山の桜で盛り上がり、順調に市民参加の事業に成長しました。

昨年来、15周年準備委員会にて協議され、L.柴田博安会長のもと、阪神淡路大震災の教訓を基に、多治見市へ携帯型簡易トイレを寄贈しようと計画が進んでいます。ライオンズクラブは単年度で構成が変わります。しかし、5年10年の先を見据え、人的にも、財務的にもしっかりしたクラブでありたいと思います。



■ 15 周年を迎えて

10周年事業の時に引き続き、実行副委員長という大役を仰せつかり、非常に身の引き締まる思いをしているところです。

L.尾関大会長、L.柴田新会長はもとより、L.加藤実行委員長の女房役として手となり足となって努力していく所存であります。

どんな時でもそうですが、節目の事業というのは、それまでの集約であり、さらに次へさらに成長する為のスタートラインでもあろうかと思えます。

どうか、会員全員が一丸となってこの周年事業に取り組んでいかれることを切に願うものであります。



2006.7～2007.6
多治見陶都ライオンズクラブ
15周年記念大会
実行副委員長

L.前田 重宏

■ 事務局移転を終えて

事務局管理委員長 L.前田重宏

若尾新体制がスタートして間もない昨年7月頃、新会長から諸般の事情から事務局の移転を検討するよう要請があり、以来この1年間、委員会メンバーのご協力、また会員の皆さんのご支援により、無事新事務局へ移転する事ができました。特に事務所借上げについて、L.奥村紀八郎の大きな後押しを頂いた事に心より感謝を申し上げる次第です。

おかげさまで費用・事務所スペース・駐車場等、好条件の中で新事務局を開設する事が出来ました。しかし、現事務局より遠くなった会員の皆様には、不便を掛けますがどうかこの点について暖かいご理解を頂きたいと思っています。

15周年という節目を迎えた年での新事務局開設となりました。

私達多治見陶都ライオンズクラブにとって“WE SERVE”の新拠点として末永く会員の皆さんから『愛される事務局』となっていく事を切に願うものであります。

最後になりましたが、事務局改修にあたり電気、PC関連などにおいてご支援を頂いた会員の方に心よりお礼を申し上げます。

■ 本年度の主な行事(上半期)

《100%出席をめざして
頑張りましょう!!》

7月 14日(金)	新年度例会
7月 21日(金)	ZC訪問例会
8月 4日(金)	総会
8月 17日(木)	ガバナー公式訪問(セラミックパークMINO)
9月 1日(金)	例会
9月 15日(金)	例会
10月 6日(金)	例会
10月 20日(金)	例会
11月 10日(金)	例会
11月 17日(金)	環境作文コンクール表彰式(美濃焼卸センター)
12月 1日(金)	例会
12月 17日(金)	例会

編集後記

早いもので、前回20号の編集を行ってから1年、年2回の発行が、色々諸事情も重なり年度をまたいだ合同発行となりました。前回に引き続き、多くの方にご協力いただきありがとうございました。

今年度は、15周年を迎える事もあり、色々のご支援いただく事も多くなるかと思いますが、予定通りの発行を目指し頑張っていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

2005.7~2006.6 PR委員会
2006.7~2007.6 PR委員会